



BLUE
ROSE
AWARD

第3回

活躍する
女性リーダー表彰

(愛称:ブルーローズ表彰)



表 彰 式

2025年3月6日(木)

大阪商工会議所



ごあいさつ



大阪商工会議所
会頭

鳥井 信吾

「第3回活躍する女性リーダー表彰（愛称：ブルーローズ表彰）」を受賞されました皆様方、誠にありがとうございます。

大阪商工会議所は、現在、「挑戦都市 やってみなはれ！大阪プラン」（2023～2025年度）を展開しています。同プランは、地球環境や人類のウェルビーイング、社会課題解決に貢献するイノベティブな産業の集積をめざす「価値創出・課題解決プロジェクト」と大阪経済を支える中小企業の成長を後押しする「経営基盤強化パッケージ」で構成しています。人材不足が大きな経営課題となっているなか、人材分野では、「人的資本強化パッケージ」として、女性をはじめ、若者・外国人・障がい者・高齢者など、多様な人材の活躍推進に全力をあげて取り組んでいます。なかでも、本表彰は、様々な分野で活躍する女性リーダーを称えるシンボリックな事業であり、第3回目となる本年度は40人の女性リーダーの皆様が受賞されました。

来月開幕する大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、未来への希望を共有する場となります。このような歴史的な機会を前に、私たちは社会全体の持続可能な発展のため、多様な視点やリーダーシップの重要性を改めて認識するところ。本日受賞されたお一人おひとりが、まさにその未来を先導する存在です。皆様の情熱と創意工夫、ビジョン、そして具体的な行動は、地域社会にも影響を与え、新たな挑戦を促す原動力につながるものと期待しています。

本表彰の受賞者も累計124人となり、また、2016年度から2020年度まで実施いたしました「大阪サクヤヒメ表彰」の受賞者計227人とあわせ、合計351人となりました。これら受賞者は、業種・職種の枠を超えて自発的に交流し、万博の機運醸成やSDGsの推進などに取組まれており、大阪・関西万博に複数の団体が参画されるなど、積極的に活動を展開されています。このように行動力のある女性リーダーの皆様が万博を応援していただくことは誠に心強く、その活動する姿、道のりは、後進の働く女性の大きな励みにもなるものと確信しています。

結びに、本表彰にご推薦・ご応募いただきました会員企業やご関係各位に深くお礼申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご活躍をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

総 評

「第3回活躍する女性リーダー表彰」を受賞されました皆様方に、心からお祝い申し上げます。

第3回目となる本表彰を実施するにあたり、昨年6月25日に開催いたしました「活躍する女性リーダー表彰選定委員会」におきまして、応募書類や選考の基準・方法を審議・決定し、7月から応募の受付を開始いたしました。

受賞者の選定にあたりましては、各選定委員による書類審査を経て、11月27日に同選定委員会を開催し、本表彰の選考基準であります「業績」、「人材育成、業務・職場環境改善」「社会貢献、都市魅力向上」に照らし、慎重かつ厳正に審査を重ねた結果、40人が表彰に値すると決定いたしました。

このたび受賞されました皆様は、自社の企業博物館の来場者を飛躍的に伸ばされ、地元自治体と連携して、まちづくりや観光振興に貢献された方、障がい者が働きやすい環境づくりに尽力するとともに、障がい者の親元からの自立を支援された方、ご自身の転職経験を活かし、女性に持続可能な働き方を提供する会社を設立した方、事務職として管理業務全般を担い、会社規模を社員数、売上ともに約10倍へ伸長させる基礎を築いた方など、本表彰の受賞者としてふさわしい方々ばかりです。お一人おひとりのご実績とその実現に向けた不断努力に、選定委員一同、深い感銘を受けるとともに、衷心より敬意を表します。

本日、このような素晴らしい皆様方を表彰させていただきますことは、選考にあたりました私どもにといたしましても、この上ない喜びであります。受賞されました皆様方に改めてお祝い申し上げますとともに、女性リーダーとして今後のさらなるご活躍を期待しております。

最後に、ご推薦・ご応募いただきました会員企業はじめご関係の方々に厚く御礼申し上げますとともに、ご関係の皆様方の今後ますますのご活躍とご健勝を心より祈念いたします。



大阪商工会議所
人材育成委員会委員長
活躍する女性リーダー表彰
選定委員会委員長

長谷川 恵一

あさの ゆうこ
浅野 祐子エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社
ブロードバンドサービス事業本部
ビジネスサービス事業部 担当課長2005年西日本電信電話に入社。光回線等の
営業や企画、運用オペレーション業務に従事。
2度の育休・産休を経て、21年よりグループ

会社へ出向。組織横断の料金業務 DX 化による業務改善や、モバイル通信サービスの事業拡大に貢献。育児と両立して働くメンバーがフォローし合える業務設計や、多様な意見を出し合える心理的安全性の高い環境づくりに努め、エンゲージメントの向上にも尽力。

いまなか みよこ
今中 未余子南海電気鉄道株式会社
泉北事業部長

1995年入社。企画乗車券造成など広告宣伝部門にて旅客誘致に携わった後、2011年より大阪観光コンベンション協会（現・大阪観光局）へ出向、大阪及び関西へのインバウンド旅客誘致に注力。18年より泉ヶ丘駅前を拠点としたエリアマネジメントに参画し、自治体、大学、企業と連携し、交通やヘルスケア等複合的な観点から泉北ニュータウンの再生、魅力あるまちづくりを行う。24年より現職。

ンバウンド旅客誘致に注力。18年より泉ヶ丘駅前を拠点としたエリアマネジメントに参画し、自治体、大学、企業と連携し、交通やヘルスケア等複合的な観点から泉北ニュータウンの再生、魅力あるまちづくりを行う。24年より現職。

うえの そうよう
上野 宗洋Eggplant
代表

20代後半の業務多忙の中、茶会の空間デザインの素晴らしさに目覚め、その愉しみを広めるべく、2017年茶道教室を開始した。少人数制で生徒に寄り添った指導で、

地域でブランドを確立。24年には動画を利用した茶会体験の定期便「てのひら茶会」を開始し、茶道の敷居を下げる活動を展開する。今後はオンライン稽古や多言語対応を通じ、大阪から全国・海外へ茶道の魅力を発信してゆく。

うらなか まゆら
浦中 麻由良日本生命保険相互会社
大阪・関西万博推進部 兼 ヘルスケア事業部 専門部長

1998年総合職として入社。生命保険の引受業務に従事。ペーパーレス、印鑑レスでの保険申込・告知手続きを導入する等、業務刷新の功績が認められ課長となり、顧客

サービス部門で後進の育成や業界の課題解決に取り組んだ。2021年に部長となり、ヘルスケア事業部門で社会課題解決に尽力した。23年から大阪・関西万博推進部を統括し、大阪ヘルスケアパビリオンの出展企画を手掛ける。

おおさわ そのこ
大澤 園子関西電力株式会社
ソリューション本部 法人営業第一部
法人営業グループ 部長

入社以来、家庭分野における営業、安全衛生、採用、人材開発等、幅広く経験。管理職となってからは企画部門において組織改

正、コスト構造改革の旗振り役として活躍した。営業部門においても電気料金の値上げ、価格競争等の厳しい環境下でチームをまとめた。2021年より現職として法人顧客担当のグループを統括。再エネ・省エネに関する新サービス等を積極的に展開。

おおつか みきこ
大塚 三紀子株式会社実身美
代表取締役

働く女性が増える中、女性が一人で健康的な食事ができる店舗の必要性を感じ、2002年に阿倍野区に玄米カフェ実身美を開店。以来、女性の健康に着目した商品を

開発している。玄米食による健康改善事例に多く接し、17年から臨床試験を経た、より信頼性の高い商品づくりのため国立大医学部との共同研究を実施。食のみならず、起業や店舗運営のテーマで講演も行う。

おおつき みやこ
大槻 美弥子丸一鋼管株式会社
執行役員秘書室長

入社以来社長秘書を担い、優れた情報収集、調整力を活かし様々な重要案件のサポートに尽力してきた。社内で女性初の管理職、役員へ登用。柔軟な発想・企画力で、仕事

と育児の両立や様々な悩みを抱える社員が適材適所で活躍、自分らしいキャリアを構築できるよう後押し。2023年度に Maruichi Diversity Meeting を立上げ、課題解決に向け新たな組織作りに取り組む。

おさくら えいこ
長倉 永以子一般社団法人桜守
代表理事

生命保険会社での法人営業の経験を活かし、2016年に土業コンサルティングを行う会社を設立。軌道に乗り始めたエージェント事業が4期目を迎えた頃、コロナ禍で打撃

を受けるが、IT・AI時代の変化がもたらす新たなフェーズとして捉え、大手ITベンダー企業との業務提携等を行った。現在は一般社団法人として、病気の早期発見・治療につなげるツールの導入業務、優しい租税塾を実施。

**かが かよこ**
加賀 加代子株式会社CORE技術研究所
管理部 部長

2014年の会社設立期に入社。土木技術者ばかりが在籍する中、事務職として組織を機能させるための規定、ルール等の整備。この他、会計、法務、営業といった技術面以外の業務全般を担い、会社規模を社員数、売上とも約10倍へ伸長させる礎を築いた。22年より管理部部長として外部専門家との顧問契約や勤怠管理システムの導入等を手がけ、コスト削減と業務効率化に大きく貢献している。

**かわばた あきこ**
川畑 晶子カナデピア株式会社
ICT推進本部 高度情報システム部長 兼 人材マネジメントシステム・コミュニケーショングループ長

当社グループの情報システム会社、ITベンチャーでシステム開発に従事。旅行予約サイト等多くの開発実績を残した。2011年より当社経営企画部情報システムグループ。Office365導入等に携わり、全社的なコミュニケーションや情報共有を強化。16年の基幹業務システム刷新プロジェクトの人事領域ITリーダー、17年にグループ長、24年より現職。対話を通じた職場環境活性化に注力。

**かわはら だ**
河原田 さおり大阪シティ信用金庫
平野上町支店 支店長

1995年入庫。営業店において預金や預かり資産業務を中心に業績伸長に貢献し、2020年に支店長に就任。21年には諮問委員会「新しい人材育成プログラムの構築」の委員長を務め、「専門性の高い職員育成のための外部派遣研修」「若手職員の意欲向上のための新たな表彰制度創設等」を答申し、当金庫の経営施策に反映させた。

**きたむら まき**
北村 麻貴積水ハウス株式会社
兵庫シャーマン支店 神戸I店 副店長

2006年入社。約1,000名の賃貸住宅営業職のうち、わずか18名の女性の一人として活躍。営業本部（関西全域）で初めて産育休を取得する等、女性営業職の先駆者。地道な営業活動、仕入れルートとの連携強化のみならず社内勉強会の開催等で所属店の全国表彰に貢献した。個人では全国店長交流会にて最高位のグランドスラム賞を2期連続獲得。23年からは女性営業推進委員としても活動。

**くろだ ともこ**
黒田 朋子大同生命保険株式会社
主計部 会計課長

1992年入社。システム部門、人事部門、契約サービス部門を経て、2017年に管理職。コロナ禍で通常の50倍となった保険料払込猶予の申出を迅速なシステム構築で対応し、適切な案内により顧客満足度を向上させた。23年より現職。経費精算等の見直しで年間800時間分の処理を削減。課内業務の9割を電子化しペーパーレス化にも寄与。ロールモデルとして当社の女性活躍を推進する。

**こうさか じゅんこ**
高坂 順子株式会社ロイヤルホテル
経営企画部 ブランド戦略推進室長

1993年入社。レストラン運営・イベント企画を担当後、人事部等を経て、当社初の調理部門の女性事務長。IT部門と連携し、システムによる宴会調理の効率化を果たす。社内の女性活躍推進のリーダー的存在として、2022年のワーキンググループ立ち上げから関与し、キャリア転換の新制度導入、男性育休の推進等を進めた。23年に新設された現職に抜擢され、ブランド価値向上に取り組む。

**しばの てるみ**
柴野 輝美タカラベルモント株式会社
開発本部 副本部長

1997年入社。2011年に当社初の女性機器開発系管理職となった。機械設計、皮膚・毛髪科学の知見を持ち、理美容サロン向け製品開発の中核として、革新的な製品を多数生み出すとともに国内外の特許28件を取得。19年より開発本部技術開発グループの長として、メンバーを率いる。24年に現職。自身の経験から他社員の仕事と家庭の両立をサポートし、女性技術系社員の活躍を推進する。

**しま ひろこ**
志摩 博子大和リース株式会社
環境推進部・担当課長

1993年入社。TQC推進室にて認証取得の業務に携わり、内部監査を担当した。2006年から環境推進部。社内の環境意識を向上するため、14年からeco検定取得を目標に掲げ、講習会等の実施により取得率を4年間で4%から92%に向上させた。21年から障害者就労施設と連携し、工事現場で使用後廃棄する安全啓蒙の懸垂幕をトートバッグにアップサイクルし、顧客に配布する活動も行う。

しまじり さわこ
島尻 佐和子理光フロートテクノロジー株式会社
フロート事業部 品質管理部 次長

2004年パートタイマーとして入社。検査を担当し、トップのスピードと正確さを誇った。09年にQCチームリーダーとして、新しい検査機を考案、効率化により年間730万円のコストを削減し、大阪府QC大会知事賞。11年に社員に転換して係長、課長を経て25年より現職。顧客と共同での外観品質基準策定により不良率の低減等も実現。女性社員の働きやすい環境づくりにも注力する。

すずき あきこ
鈴木 亜紀子大塚製薬株式会社
ファーマコヴィジランス部部长(PV部)

入社後14年間の新薬開発業務を経て、ファーマコヴィジランス部にて治験の安全性業務、医薬品安全業務に従事。情報量が年々増加する中、2018年に情報処理業務の改革プロジェクトリーダーとして、新たな技術の導入や業務プロセスの見直しによる効率化でコストを20%削減するとともに、チームに業務改善意識、チャレンジ精神を根付かせた。現在、担当部門の部長として60名超を統括。

すみよし あや
住吉 彩株式会社My Land
代表取締役

大学卒業後、管理栄養士として病院に就職し1,000人以上の患者の食事指導・給食管理に携わる。2019年に独立し個人・法人向けにセミナー・イベント開催、レシピ開発、WEBメディア監修などを行う。24年企業の販促支援や商品価値を高め、健康意識が高い生活者と繋げるために管理栄養士コミュニティを開設。食と健康総合支援プラットフォームを作るべく法人化する。

たかす ゆうこ
高須 優子西日本旅客鉄道株式会社
鉄道本部CS戦略部CS推進室長(理事)

1993年技術系総合職として入社。車両現場・間接業務に従事し、2人の育児と両立しながら知見を深め、2012年に車両部門初の女性現場長に抜擢された。17年よりCSに係る業務に従事し、計画連休時の情報提供ガイドライン策定等へ貢献。21年より子会社社長としてお客様センター業務の効率化に尽力した。23年より現職としてグループ全体の顧客視点での施策推進に取り組んでいる。

たけなか みえこ
竹中 美江子株式会社池田泉州銀行
稲野支店 支店長

証券会社・大手銀行を経て2006年に入行。当時数少ない女性の営業担当者として活躍。14年に社内公募のプロジェクトメンバーに抜擢され管理職となった。19年に支店長となり、顧客目線の店舗レイアウトで効率化を実現。職員同士の連携を重視した運営を行い、着任後2期連続で目標達成率150%超。また、女性活躍推進施策であるメンター制度にてメンターを担い、次期管理職の育成に貢献。

たなか あき
田中 亜紀関西電力株式会社
人財・安全推進室 安全推進担当部長

技術職として入社し、配電設備の保守・運用に従事。新入社員の体系的な技能訓練を導入し、技能底上げと現場の育成負担軽減を実現。電力システム改革による送配電分社化後の新規部門の立上げに尽力し、調整力業務では全国10社の送配電会社の取りまとめ役を担い、円滑な電力調達に大きく貢献した。2024年より現職。女性技術職の交流の場でキャリア形成に助言する等、後進育成も積極的に行う。

たなか せりな
田中 瀬吏捺クリーン・テクノロジー株式会社
技術開発チーム

技術や企業文化の承継を目的に2018年に開始した新卒採用の一期生として入社。世代間ギャップや異なる価値観が存在する中、素人の視点から業務改善を実施し、従来と異なる着眼点により工数の50%削減に成功。採用活動も担当し、企業イメージ向上に努め、5年間で社員数を1.5倍とした。22年に若手社員が主体で職場活性化をめざすルーキーチームを立ち上げ、リーダーを務める。

とくだ やすこ
徳田 泰子株式会社ヘルシーオフィス
代表取締役

管理栄養士として病院勤務の後、1996年に当社を設立し、病院、福祉施設の栄養サポートをはじめ食を通じた健康支援を実施。2002年に生活習慣病等の予防のために、食事と行動変容のWEB支援システムを開発した。09年に独立系管理栄養士の交流ネットワーク「あびネッツ」を立ち上げる等幅広く活躍。また、子育てや介護に取り組みながら仕事を続けられるよう環境整備に努めている。

ともすぎ さなえ
友杉 早苗大阪信用金庫
経営企画部・調査役

入庫以来本部に所属。インターネットバンキングサービスの普及にあたり、ヘルプデスクの設置による対応の一本化、職員の勉強会、不正利用防止の啓蒙活動等に尽力した。現在は新本店建替えに伴う新しい働き方やレイアウトの検討の他、ペーパーレス化推進等、部署横断的な検討事項の取りまとめ役として貢献している。聴覚障害を持つ職員が働きやすいよう講習受講や業務フローの見直し等も行った。

なかくぼ ゆみ
仲窪 祐美株式会社関西みらい銀行
王子支店 支店長

2008年入社。融資業務、個人顧客の営業等を経て、22年当社初の相談業務特化型店舗「セブンデイズプラザららぽーと堺出張所」開設時、当時社内最年少で所長に就任。勤務体制等の店舗運営ルールの整備、社内協力体制の構築等とともに、顧客基盤のない中で、資産運用セミナー等のイベントを企画し、新規顧客を開拓。地域における当社プレゼンス向上に大きく貢献した。24年より現職。

なかた ゆみ
中田 有美一般財団法人日本気象協会
関西支社 環境・エネルギー事業課長

東京本社にて予報センター、環境・エネルギー事業部を経験。気象予報士、技術士を取得。2022年に関西支社の副課長、翌年に最年少で課長として部下30名を営業指導し、前年比167%の11.7億円、全国1位の契約額を達成。365日の交代勤務での疲労や不満が募りやすい中、部下のケアを欠かさず、職人技である予測業務のマニュアル化により精度向上、作業時間短縮にも寄与。

なかたに けいこ
中谷 敬子

公立大学法人大阪 大阪公立大学工業高等専門学校教授

企業研究員、大阪府立大学工学部助手を経て、2005年大阪府立工業高等専門学校助教授。4人の育児と研究に奮闘しつつ、高専女子学生有志団体「ROSE」設立や女性技術者支援に尽力。20年教授就任。産学協働型理工系キャリア発達の場づくりに注力し、22年内閣府「女性のチャレンジ支援賞」受賞。同年、大阪公立大Fledgeプログラムの支援にてNPO法人メイカーズクラブ設立。

にし みき
西 美紀株式会社ショーエイコーポレーション
ダイバーシティ推進室主任

2007年に倉庫作業のパートタイマーとして入社。向上心ある仕事ぶりが評価され、18年に正社員に転換。21年に当社が障がい者雇用を開始するにあたって現職となり、支援学校等からの実習生の受入れや入社を推進。企業在籍型職場適応援助者等の資格も取得し、働きやすい環境づくりに尽力すると共に、障がい者の親元からの自立も支援。24年ハートフル企業大賞の受賞に大きく貢献した。

にしうち よしこ
西内 慶子株式会社関西システムズ
ソリューション本部 テクニカルラボ DevOps推進
G・テクノロジスト プロフェッショナル

SEとして入社し、グループ向けシステム開発等を経験後、アジャイル開発（小単位で実装とテストを繰り返して開発を進める手法）に挑戦。2018年から3年間、関西電力のアジャイル推進プロジェクトに参画し経験を積む。Certified SAFe 6 Practice Consultant等の複数のアジャイル資格の当社初保持者として、開発ガイドライン作成、人材育成も担当する。

はせがわ やすよ
長谷 裕代有限会社オフィス長谷裕代
取締役会長

44歳でアリコジャパン（現・メットライフ生命）入社、MVP大会で1986年から毎年入賞、世界大会で日本人初のNo.1プロデューサーになる等数々の成果を上げ、後進の育成にも尽力した。65歳で退職後、保険代理店として当社を創業。2023年事業承継し、現職。L.I.C（大阪商工会議所中央支部女性交流会）に発足時から参加し、現在会長として働く女性のネットワークづくりを推進。

ひがしぐち としこ
東口 敏子社会保険労務士法人大阪経営
社員パートナー

2015年に社労士として入社。子育てとの両立で時間制約がある中でも即戦力として既存顧客の維持に加え、新規顧客開拓に貢献。18年の法人設立とともに役員に就任し、顧客対応だけでなく、事務所の運営管理全般を担っている。特に業務フローの確立、マニュアル整備や勉強会を通じ、効率化とスタッフの専門力向上に尽力。働きやすい職場環境づくりにより職員の定着率を大幅に改善させた。

ふくしま わかば
福島 若葉公立大学法人大阪 大阪公立大学
教授

医師としての病院勤務を経て、2005年に博士号を取得、大阪市立大学大学院医学研究科助手となる。講師、准教授を経て、15年から公衆衛生学の教授。数少ない女性教授として医学部運営に関わり、厚生労働省厚生科学審議会委員や日本疫学会指名理事を務める等、社会貢献活動でも活躍。24年から女性研究者支援室の運営委員として、大学全体の女性研究者育成やキャリアアップにも取り組んでいる。

ふるくぼ まさこ
古久保 仁子株式会社りそな銀行
住道支店 支店長

1993年一般職として入社し、窓口で相談業務を担当。その後、金融商品販売担当として業務の幅を広げた。準総合職に転換後、営業店管理職や専門部署でマネジメントスキルや専門性を磨き、2021年より現職。特に若手職員の育成に尽力し、提案力向上とともに不安解消や意識改革を行った。結果として金融商品販売額が大きく伸び、23年度業績評価において21カ店中2位の成績を納めた。

ほそおか かよ
細岡 佳代株式会社大林組
本社設計本部大阪設備設計第一部・課長

入社以来、電気設備の設計に従事し、集合住宅、ホテル、商業、物流施設等の多種多様な物件を担当。出産・育児休暇を経て、2007年に設計部初の時短勤務を実施。情報共有を工夫し、時短でも成果をあげた。17年に技術士（電気・電子）取得。20年にグッドデザイン賞を受賞。社内の女性活躍推進活動に積極的に参加し、自らの経験を交え、後進にキャリアのアドバイスをを行っている。

まつお まきこ
松尾 真希株式会社Frank PR
代表取締役

2018年、海外大学でのMDGsの学びを基に、環境と社会に貢献することを目指し創業。レザーブランドRaffaelloはバンガラデシュの工房で障がい者、貧困シングルマザーなど、900人以上の雇用支援、環境にも配慮した包括的な取り組みを行う。21年環境省グッドライフアワード、23年外務省ジャパンSDGsアワード外務大臣賞を受賞。大阪発の社会課題解決企業を目指す。

まつひさ ふじこ
松久 藤子三井物産株式会社
関西支社 副支社長 兼 業務部長

1990年入社。主に金属セグメントでキャリアを重ね、2009年のロンドン勤務時に管理職となり、東京本店営業室長、広報部編集制作室長等を経て、22年に女性初の関西支社副支社長、24年より現職。当時女性が選択しにくかった海外赴任等のキャリアを選択し、後輩達の道を切り開くことに尽力した。経営会議の諮問機関ダイバーシティ推進委員会の委員として、社内の女性活躍を推進。

むかい えりこ
向井 絵里子株式会社ウマント・ラボ
代表取締役

10数年人材業界に従事した後、IT企業にて営業・戦略策定およびバックオフィス周りの整備に従事。働きやすさと持続的成長を両立させ、2年間で売上を2.3億円から6億円へ増加させた。その後「公平にキャリアを活かせる社会」の実現のため、当社を設立。オンライン事務代行サービスを開始し、育児や家庭の事情でキャリア継続が難しい女性に柔軟で持続可能な働き方を提供する。

やなせ よしこ
柳瀬 佳子レンゴー株式会社
監査役室 担当部長

1995年入社。段ボール等のパッケージ製品の販売・販売促進を担う営業部に所属。堅実でミスのない供給業務に携わるほか、マーケット戦略起案を支援し収益拡大に貢献する。2011年に管理職に昇進、18年にパッケージング部門西部営業本部営業業務部長代理に就任。部下のスキルアップと意識改革に取り組み、女性リーダーとして力を発揮。25年2月より現職。

よしかわ さとみ
吉川 智美グンゼ株式会社
人事総務部 綾部総務課 課長

1989年入社。97年に労働組合専従となり、女性の待遇改善とハラスメント防止等に従事。2004年からCSR推進室にて「職場の風通し」に関する啓発活動を全国で展開。17年にグンゼ博物館長となり、ターゲット明確化、展示内容見直し等を行い、メンバーと共に年間来苑者数を就任前の8倍に増加させた。21年より現職で行政等と連携し、地域の安全安心まちづくりや観光振興を推進している。

表彰式次第

日時

2025年3月6日(木)
午後3時～

場所

大阪商工会議所
7階 国際会議ホール

次第

開会あいさつ 大阪商工会議所 会頭 鳥井 信吾
選定委員長による総評 大阪商工会議所 人材育成委員会委員長 長谷川 恵一
表彰楯授与
お祝いメッセージ 近畿経済産業局長、大阪府知事、大阪市長、日本商工会議所会頭
受賞者のことば グンゼ株式会社 人事総務部 綾部総務課 課長 吉川 智美氏

表彰概要

● 活躍する女性リーダー表彰について

2003年に政府は2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30%にする目標を掲げましたが未達成となりました。2020年に取りまとめられた「第5次男女共同参画基本計画」では、新たな数値目標（2020年代の早期に30%程度）が設定され、大阪商工会議所も同目標の達成を後押しするため、女性リーダー育成や働きやすい環境整備を支援するためのセミナーや交流会等を実施しております。

本表彰は、企業における女性の役員・管理職登用への取り組みを促進するとともに、ロールモデルの紹介や女性リーダーのネットワーク構築を支援します。

● 表彰の種類 ブルーローズ賞

● 表彰対象

下記①～③のいずれかに該当し、今後さらなる活躍が期待され、後進のロールモデルとなる方。応募は1社2名まで。

- ①大阪商工会議所法人・団体会員に属する女性役員（取締役・執行役員等）、管理職、管理職に相当する高度な専門職の方
- ②大阪商工会議所個人会員である女性個人事業者
- ③大阪に活動拠点をもち社会貢献・都市魅力向上に携わる女性

● 選定方法 「活躍する女性リーダー表彰 選定委員会」にて応募書類に基づき審査を行う。

● 愛称「ブルーローズ表彰」について

女性リーダーがガラスの天井を打ち破ることを応援するため、3月8日の「国際女性デー」のシンボルであるバラ、なかでもかつては不可能とされたものの、日本企業が開発した世界初の青いバラにちなみ、本表彰の愛称を「ブルーローズ表彰」としました。

● ロゴマークコンセプト

濃淡の異なる青色を使用し、中心から相互に絡み合って大きく花開いているようすは、周囲を巻き込んで活躍する女性リーダーを表現しています。



BLUE
ROSE
AWARD

大阪商工会議所 人材開発部 研修・採用支援担当

〒540-0029 大阪市中央区本町橋 2-8

TEL 06-6944-6499

HP <https://www.osaka.cci.or.jp/bluerose/>



〔 本冊子に記載している情報は
2025年2月現在のものです。 〕